

# 府域・関西エリアの生産性向上のための 高速道路網の強化について

【担当省庁】国土交通省

## 〔新名神高速道路〕

○大津～城陽間、八幡京田辺～高槻間を、令和5年度に確実に全線開通していただきたい。

○物流分野の生産性向上に資するダブル連結トラックやトラック隊列走行の普及を見据え、早期の6車線化を検討していただきたい。

## 〔京都縦貫自動車道〕

○宮津天橋立IC～丹波ICのネクスコ西日本による一体管理に向けた協議の一層の推進及び早期の方針決定に協力していただきたい。

○暫定2車線区間における4車線化の優先整備区間に選定された丹波IC～園部IC区間を早期に事業化していただきたい。

## 〔山陰近畿自動車道〕

○直轄権限代行により事業中の大宮峰山道路を早期完成していただきたい。

○(仮称)大宮峰山IC以西の早期全線開通に向けた支援をお願いしたい。特に、(仮称)網野IC以西のルート検討に向け、府が令和2年度より実施する調査について補助事業の採択をお願いしたい。

## 〔名神高速道路・第二京阪道路〕

○(仮称)京都南JCTの都市計画決定に向けた手続きを促進し、令和10年度供用に向け、着実な事業推進をお願いしたい。

## 〔舞鶴若狭自動車道・京奈和自動車道〕

○安全性、利便性及び防災機能の向上のため、暫定2車線区間の4車線化をお願いしたい。

## 【現状・課題等】

- ・新名神高速道路の令和5年度府域全線供用を見込み、新たなまちづくりが加速中
- ・京都縦貫自動車道は、管理者の違いによる料金制度や割引制度の違い等が課題
- ・山陰近畿自動車道は、日本海側高規格幹線道路網の唯一のミッシングリンクであり、交流人口の拡大やリダンダンシーの観点から、直轄権限代行や補助事業化による早期の全線開通が必要
- ・府内の高速道路供用区間の約半分が暫定2車線であり、安定した走行性や大規模災害時の通行確保など本来の機能が十分に発揮できていない。「高速道路における安全・安心基本計画」において4車線化の優先整備区間として位置づけられた園部IC～丹波IC、舞鶴東IC～若狭上中ICの早期事業着手が必要

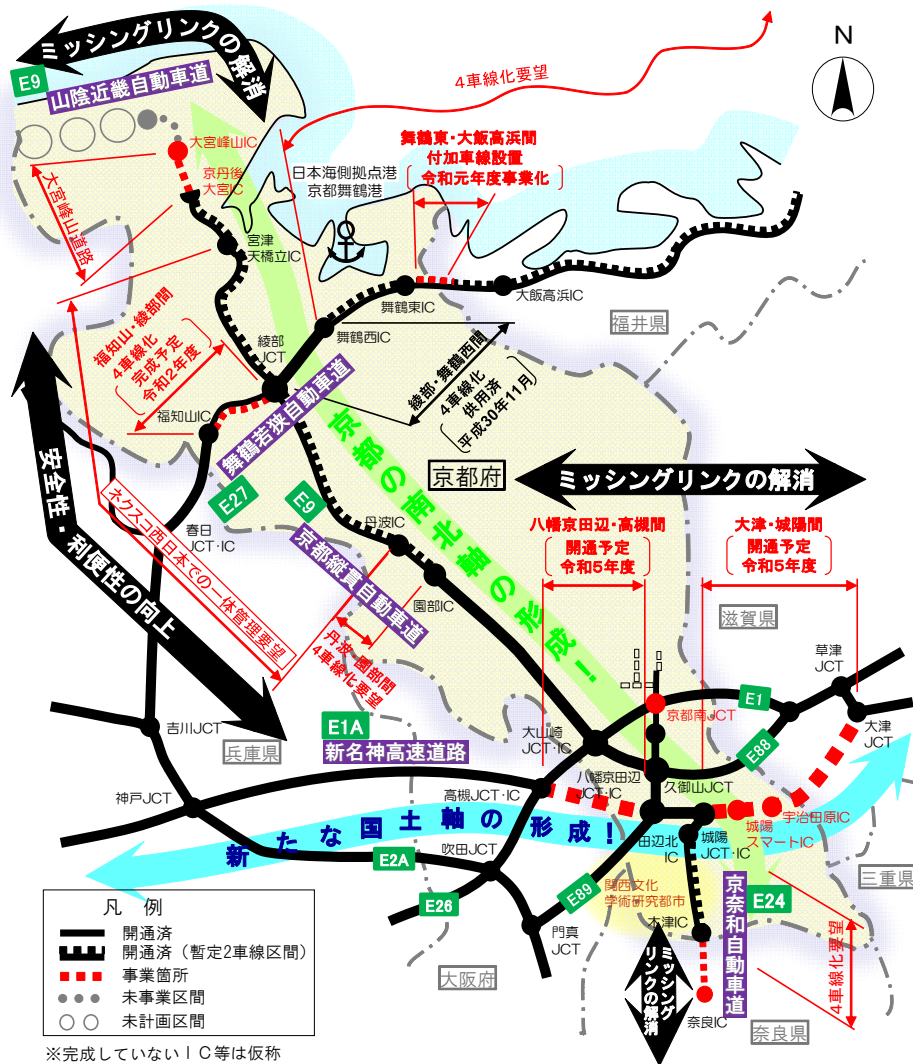
京都府 の担当課	建設交通部 道路計画課 (075-414-5246)
-------------	----------------------------

【国の事業等】

■概算要求 [国土交通省]

- ▶ 直轄事業 改築その他 12,791 億円 (令和元年度予算 10,728 億円)
- ▶ 補助事業 IC等アクセス 1,363 億円 (令和元年度予算 1,106 億円)

■高速道路のミッシングリンク



■新名神高速道路 京都府域における進捗状況 (平成 31 年 3 月現在) (単位：億円)

	区間延長	用地進捗率	工 事	事業費
大津城陽間	12.9km	80%	城陽市域、宇治田原町域で橋梁下部工事实施	1,717
城陽八幡京田辺間	3.5km	-	供用済 (平成 29 年 4 月)	-
八幡京田辺高槻間	1.3km	94%	八幡市域で橋梁上部、掘削工事实施	440

※大津城陽間及び八幡京田辺高槻間の事業費は (独) 日本高速道路保有・債務返済機構との協定工事費を延長で按分して算定